

# 開かれた議会へ

## 議会アンケートを実施

### 議会改革の取り組み報告

町議会では議会改革特別委員会を設置し、来年3月までに結論を出します。

3月以降、4回の委員会と5回の幹事会を開き、先進地の議会改革の取り組み事例や議会基本条例の設置に向け調査を進めています。

5月には会津若松市での研修会に参加し、住民との意見交換や議員間討議を深め、「自治体の課題を解決」

を目的とすることを学びました。また改革先進地の会津若松市では、市民と議会の意見交換や議員提案により市計画が変更された事例などが紹介されました。



議員自らアンケート封入作業

7月には、町民の皆様にも議会アンケートをお願いするため、議員全員で質問事項を考え、用紙の封入作業なども行い、議会改革への一歩を踏み出しました。アンケート結果は、議会だよりなどで皆様にお知らせし、議会改革に反映させていただきます。

## 意見書

6月定例会では意見書2件を可決し、国など関係機関へ送付しました。

### 9度目の意見書提出

放射性物質を含む下水汚泥の  
場外搬出を求める意見書

平成23年8月以降、8度にわたり意見書を可決し、国県関係機関に提出してきたが、何の解決方法も見えないため、再度、原子力政策を進めてきた国と東京電力の責任により県北浄化センターから一刻も早い下水汚泥の場外搬出の対策を求める。

可決

東京電力福島第一原子力発電所事故に関する損害賠償請求権時効を排除する立法措置を求める意見書

原発避難者が自ら損害賠償請求を申し立てることは困難であり、全ての被害者が損害賠償請求を行えるよう、原発事故により発生した損害賠償請求権につき3年の消滅時効の適用を排除する新たな立法措置を国に求める。

可決

## みなさんからの 請願・陳情

6月定例会に提出された陳情1件を委員会で審査し、採択となりました。

陳情	提出者	審査委員会	結果
東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した損害賠償請求権につき3年の消滅時効の適用を排除する立法措置を求める意見書の提出を求めるもの	福島県弁護士会 会長 小池達哉	3.11大震災復興対策特別委員会	採択

# 日本一の 議会に学ぶ

## 全国特別表彰の 大洗町議会で行政調査

### 平成25年度行政調査報告

7月2・3日、茨城県大洗町議会を訪問し行政調査を行いました。

大洗町議会は、平成24年度全国町村議会議長会特別表彰を受け、全国でも有数の議会改革先進地であり、町議会への関心の高さや議会傍聴者の増加への取り組みなど大変有意義な研修となりました。

### 先進地の 取り組み

大洗町議会では平成19年から議会改革に取り組み、当初は一般質問に二問一答方式を導入、1日3人の質問で答弁時間を1時間までとし、傍聴者のため午前中に終わるようにしました。

また、町長が議員に質問できる反問権の付与、1日1委員会の開催、委員会の町民傍聴、委員長報告の充実、傍聴者へのアンケート、

各議員の出欠や議案に対する賛否の公表、3月と9月の定例会終了後には議員が3班にわかれ、計9か所で開催報告会を開催し、その会場設営や参加者への対応は議員のみで行うなど多くの改革を実践しています。

さらに、町長の所信表明

### 行列のできる 店に納得

大洗町漁業協同組合と漁協の直営店「かあちゃんの店」でも交流の場や後継者対策の研修を行いました。

「かあちゃんの店」は、漁協婦人部会（漁師の奥様方）が2010年に始め、クチコミにより県内外や東京からも観光客が押し寄せ、行列のできる店として評判となつていきます。昨年の売り上げは8900万円で、今年5月連休には1日800人を超すグルメマニアが来

を日曜議会にし、議員自身が写真などを準備し、誰にでもわかるようにスクリーンを活用しての一般質問の実施などです。

### 議会傍聴に

### 来てもらうには

傍聴者を増やすため、議会傍聴の案内状を町内各団体などに送付したり、議

店したとのことでした。料理がうまいのは当然ですが、父ちゃんが釣った魚を母ちゃんが料理して出すという見事な夫婦連携

での経営方法は、国見町でも相当参考にするべきところが多く感銘を受けました。

また漁協では後継者対策の調査を行い、若手の組織「研究会」が主体となり勉強会やイベントなどに取り組んでいて、婚活事業も検討中とのこ

会開催のポスターを町内のスーパー、コンビニ、銀行などの店頭に張り出して広報し、議会終了後も傍聴者へ郵送で御礼状を出しています。

どの取り組みにも議員一人ひとりの「やるんだ」という強い意志が感じられました。

とでしたが、厳しい状況は国見町と同じであると感じました。

（報告者 志村良男）



大洗町議会を行政調査



活性化へ大洗町漁協を行政調査